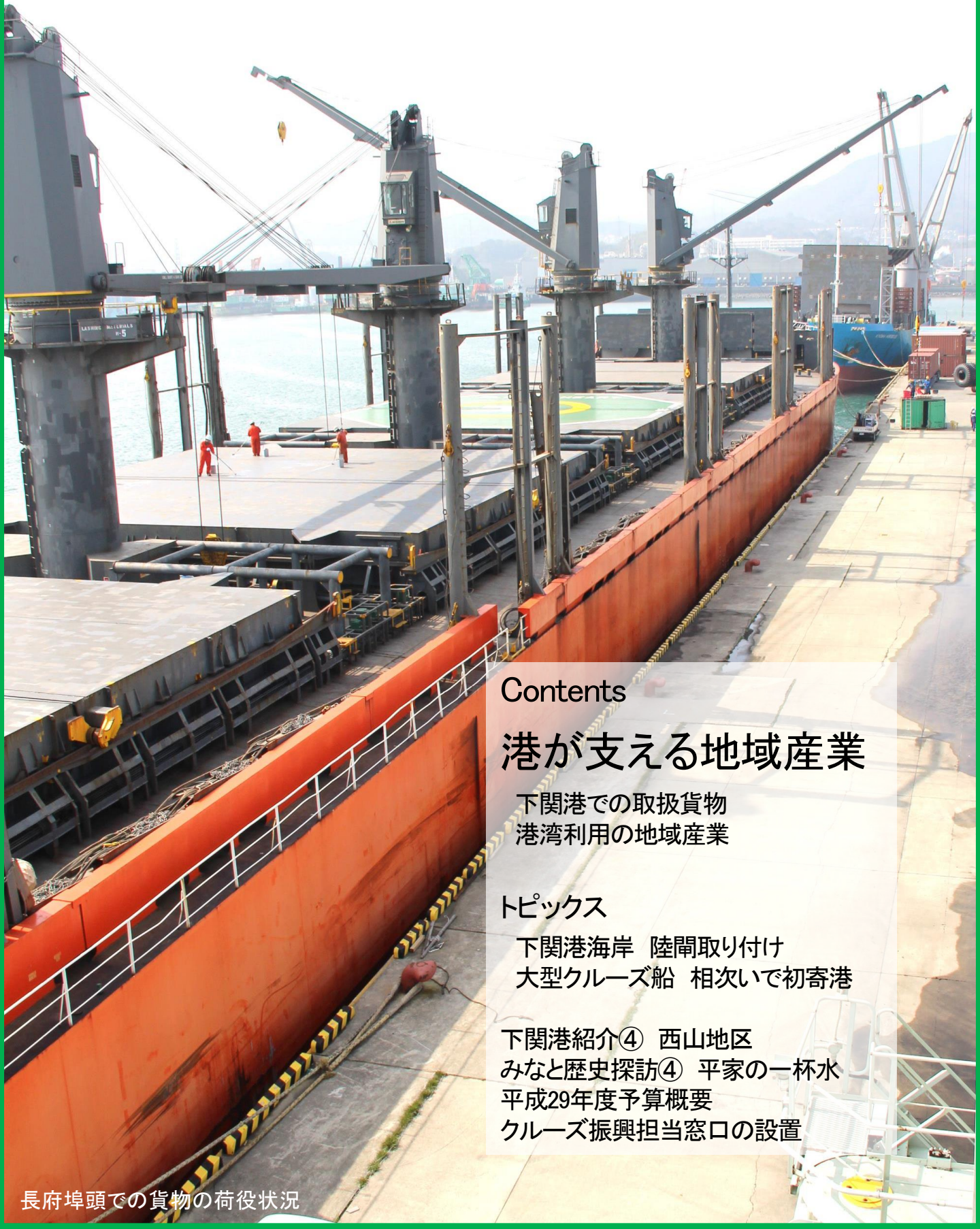


しものせき Port News

平成29年4月
Vol.4

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース



Contents

港が支える地域産業

下関港での取扱貨物
港湾利用の地域産業

トピックス

下関港海岸 陸間取り付け
大型クルーズ船 相次いで初寄港

下関港紹介④ 西山地区
みなと歴史探訪④ 平家の一杯水
平成29年度予算概要
クルーズ振興担当窓口の設置

港が支える地域産業

下関港は本州最西端に位置しているため、韓国・中国の東アジア地域を結節する高速海上輸送の拠点となっています。

今回は下関港が支える地域産業にスポットをあてた話題をお届けします。

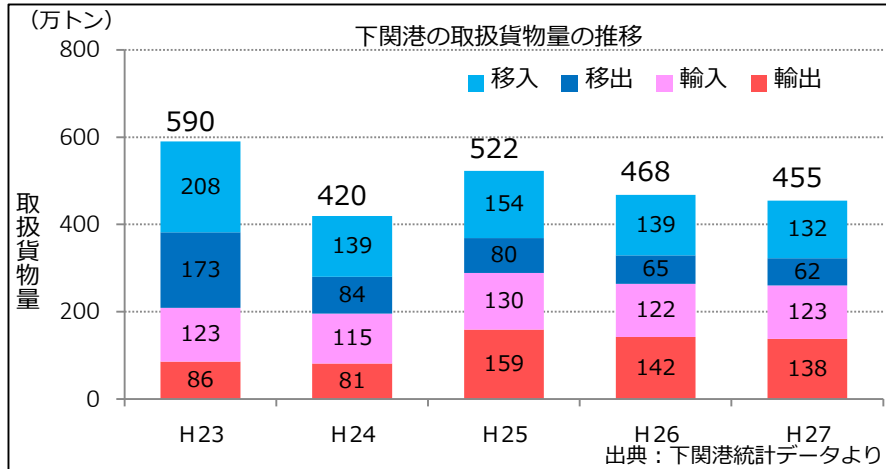
下関港での取扱貨物

港で取り扱われる貨物は、外国との貿易による外貿貨物*と、国内の港間による内貿貨物*があります。下関では年間8,000億円に相当する貨物が、港を経由して外貿として取り扱われています。

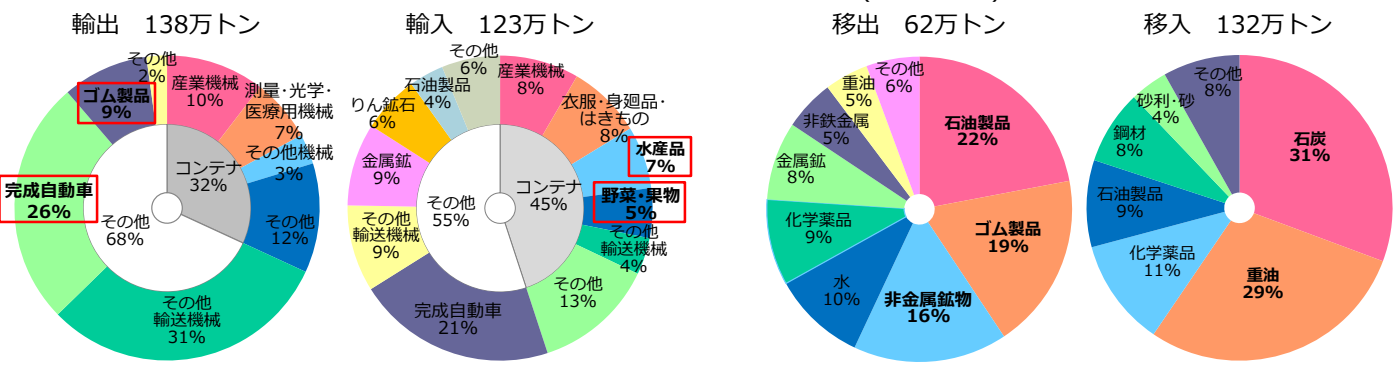
近年、下関港の貨物取扱量は、約500万トン前後で推移しており、そのうち、約6割が外貿（輸出・輸入）、約4割が内貿（移出・移入）となっています。

下関港の取扱貨物の特徴は、他港に比べ、輸出は「完成自動車、ゴム製品」、輸入は「水産品、野菜・果物」の割合が多いことが挙げられます。

*外貿貨物の出入りは「輸出・輸入」、内貿貨物の出入りは「移出・移入」といいます。



下関港の取扱貨物量（重量）の品別割合(平成27年)



港湾利用の地域産業

下関市は、人口約27万人（H29.3現在）で、山口県内の人口の約20%を占める県内第一の都市です。また、その総生産額は約9,000億円（H26年度）を誇り、県内全体の約15%を占めています。

さらに、市内の製造業事業所数は392箇所（H26.12現在）あり、県内の製造業の事業所数の約20%が集まる産業都市でもあります。

市内には輸入された水産品や野菜・果物を扱う企業があり、海外（特に韓国や中国）から下関港を経由して日本各地へ貨物の輸送が行われています。

また、市内には、建設・鉱山車両用の大型タイヤなどのゴム製品を製造する工場、ステンレス・アルミニウム・亜鉛を扱う工場、化学製品工場、造船所などがあるほか、その周辺地域には関連産業も集まっており、原材料や製品などを取り扱うために下関港が利用されています。

このほか、北部九州地域では自動車産業が盛んであり、完成自動車が下関港から国際定期フェリーで韓国の釜山へ輸出されています。

このように、下関港は地域産業を支える役割を担っています。



大型タイヤの荷役状況(長府地区)



アルミの荷役状況(本港地区)

下関港海岸 陸閘取り付け

周防灘に面した下関港海岸では、高潮対策として、平成20年度より「下関港海岸保全施設整備事業」を進めています。

このたび、山陽地区で進められている護岸の整備に合わせて、「陸閘（りっこう）」を取り付けました。

「陸閘」とは、津波や高潮から工場や住宅などを守るために造られるコンクリート壁の一部分を、人や車が通ることができるように開閉式の構造としたものです。

付け根部分を支点として扉のように開閉するスイング式や、ふすまの様に横方向に移動させて開閉するスライド式などがあります。

平成29年3月までにスイング式とスライド式の陸閘を、それぞれ1基ずつ合計2基取り付けました。

引き続き、平成29年は3基の陸閘の取り付けを行う予定です。



大型クルーズ船 相次いで初寄港

平成29年3月28日、長州出島にイタリアのコスタ・クルーズ社が運航するクルーズ船「コスタ・フォーチュナ」（総トン数102,587トン）が初寄港しました。10万トン級のクルーズ船の寄港は、山口県内で初めてで過去最大級となります。3月25日に中国の天津を出港し、下関港に寄港する5泊6日のツアーです。

約2,000名の乗客たちは、バス55台に分乗して、下関市内の観光や福岡方面での買い物を楽しみました。

岸壁では初寄港に伴う歓迎式典が行われ、ふく提灯（ちょうちん）の記念品や花束の贈呈などが行われました。

夕方岸壁に戻った乗客たちは、下関の特産品などの土産品を買って乗船し、下関平家踊り保存会による平家踊りと平家太鼓の演舞に見送られ、中国の天津へ向けて帰港しました。

さらに、4月9日、中国のスカイシー・クルーズ社が運航するクルーズ船「スカイシー・ゴールデン・エラ」（総トン数70,458トン）が長州出島に初寄港しました。4月7日に中国の上海を出港し、下関港と博多港に寄港する5泊6日のツアーです。

約1,900名の乗客たちは、バス48台に分乗して、下関市内の城下町長府の毛利邸や功山寺、長府庭園を観光するコースや、赤間神宮、唐戸市場、火の山を観光するコース、美祢市の秋吉台まで足を運ぶコースなどのツアーに参加し、下関でのひと時を過ごしました。

岸壁では初寄港に伴う歓迎式典が行われ、夕方には岸壁で特産品販売が行われ、下関平家踊り保存会による平家踊りと平家太鼓の演舞に見送られて出港しました。

下関港では、平成29年は50隻以上のクルーズ船の寄港が見込まれています。（H29.4時点）

吹奏楽の演奏による出迎えの様子



平家踊り・平家太鼓による見送りの様子



H29.3.28「コスタ・フォーチュナ」寄港時

入港時の様子



歓迎式典の様子



H29.4.9「スカイシー・ゴールデン・エラ」寄港時

下関港紹介④

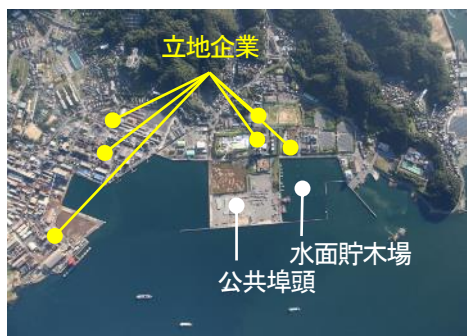
西山地区

西山地区は下関市の彦島西部に位置しており、昭和54年から昭和63年にかけて、公共埠頭や水面貯木場が整備されました。

以前は、原木や製材が取り扱われていましたが、現在は製材のみが取り扱われています。

当地区の工業用地には、化学工業や非鉄金属製造業に関する企業が立地しています。

現在、公共埠頭では老朽化した岸壁を直すための地盤改良工事を実施中です。



化学系や金属関連の企業が立地する西山地区



製材の荷役作業の様子



岸壁の地盤改良工事の様子

みなと歴史探訪④

平家の一杯水

壇ノ浦の戦いで深手を負い、敗れた平家の武将が命からがら岸に泳ぎ着いた。そこに湧き水でできた水溜りがあり、手を伸ばし1杯飲んでみると言いも得ぬほどうまい1杯だったが、2杯目を口にした時には、それは塩水に変わっており、その場で力尽きてしまった…。

平家の一杯水ではこのような伝説が残っています。今も湧き出る清水には祠（ほこら）が建てられており、元旦には若水（わかみず）として赤間神宮の神前に供えられています。



平家の一杯水

平成29年度予算概要

平成29年3月31日に、平成29年度予算概要が発表されました。

当事務所に関する内容として、下関港新港地区国際物流ターミナル整備事業1.0億円、下関港予防保全事業1.5億円、下関港海岸直轄海岸保全施設整備事業10.32億円が配算されました。引き続き、下関港及び下関港海岸の整備を実施していきます。

クルーズ振興担当窓口の設置

近年のクルーズ船寄港増加に伴い、クルーズ振興に関する相談窓口として、当事務所内に「クルーズ振興担当窓口」を設置しましたので、お知らせいたします。

クルーズ振興に関する相談や国際クルーズ旅客受入機能高度化事業に関する申請を受け付けています。



国土交通省 九州地方整備局 下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL(083)266-3291 FAX(083)261-1123
HPアドレス <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

